

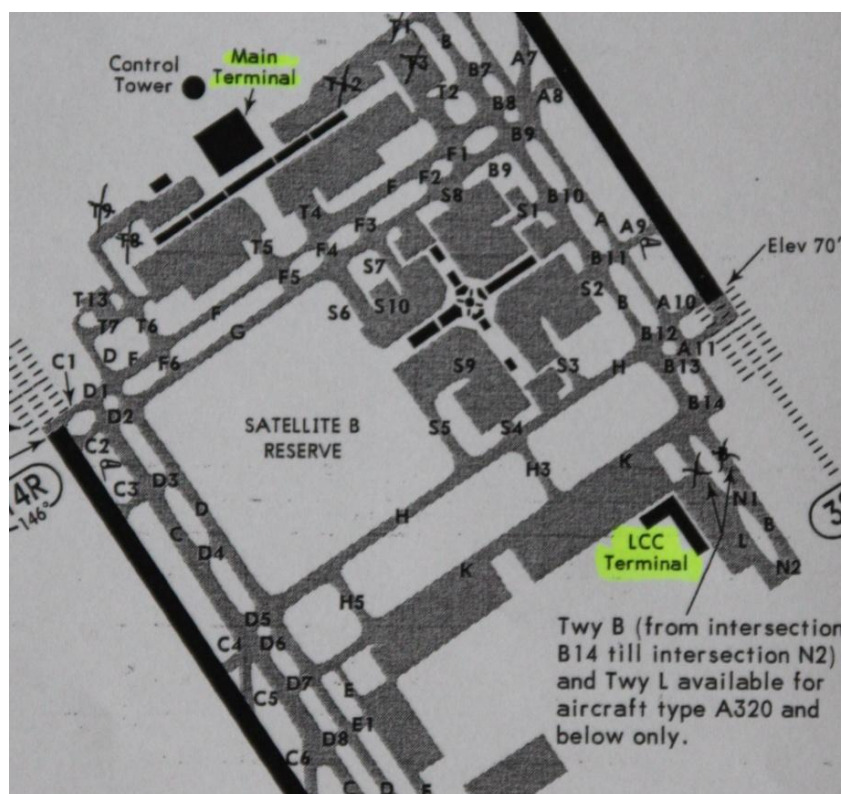
## 第4話 LCCターミナルは想像以上に大きい

KULに到着して最初の仕事？はLCCT(当地ではこのLCC専用ターミナルをLCCTと称している)のコーヒーで目を覚ませることから始めよう。ここにもSTARBUCKSがあるが、少し広めのスペースを求めて、Coffee Beansという店に入った。

さて、朝のコーヒータイムは早めに切り上げて活動開始だ。施設の詳細を見る前にLCCTの位置関係を確認しておこう。LCCTは空港の南東側の貨物地区にある。敷地の北西地域にあるメインターミナルビルとほぼ正反対の位置にLCCTはあり、空港の外側を迂回するかたちでアクセスするため、距離にして20km(車で約20分)ほど離れた場所になる。今でこそ駐機場を含めてLCC専用の施設になっているが、ここも元はと言えば貨物専用のスペースであった所である。

世界中のパイロットが使用するJeppesen社のマニュアルによると、LCCT用に用意された駐機スポットは全部で44ヶ所あり、その内11ヶ所についてはPower-out(出発時に自力走行でスポットから出る)するよう指定されているが、残りの33ヶ所はPush-back(出発に際してトラクターで押し出す)により出発することとなっている。

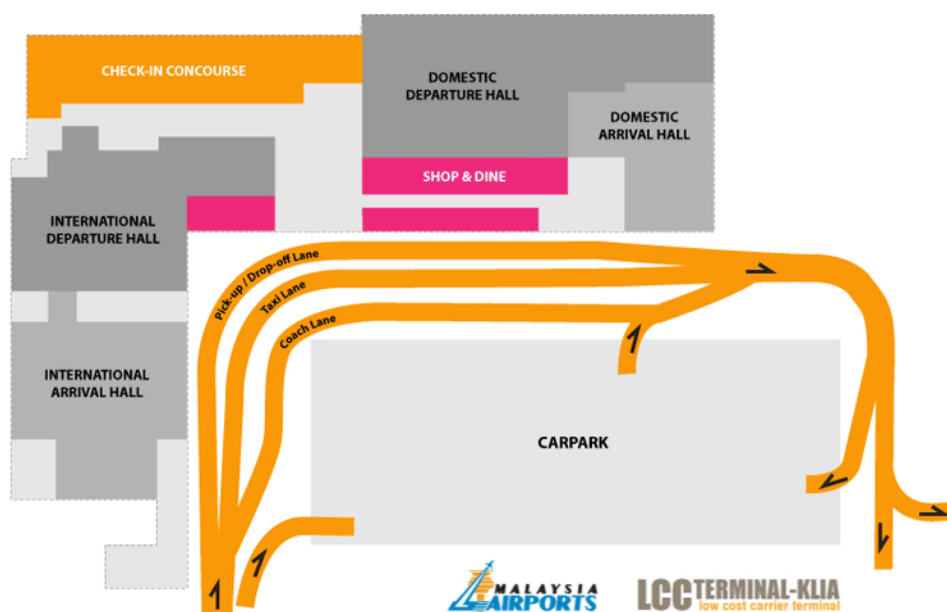
建物の総面積は35,290㎡で、概ね甲子園球場の面積に匹敵する広さである。供用を開始したのは2006年3月のことで、間もなく丸5年が経とうとしている。



図面で見ると以上にLCCTはメインターミナルから離れている

そろそろ施設を見てみよう。建物の造りは極めて簡素で、一言で言えば天井の高い巨大な倉庫のようだ。その天井にはエアコンのダクトがむき出しのまま走っている。外見は平屋であるが、建物の高さが 2 階相当あり、国際線出発部分は出国検査場といくつかの店舗スペースが 2 階に位置している。

建物の配置は鉤形(直角に曲った形)になっており、概ね一片が国内線にもう一边が国際線に使われていて、その中間にお店や銀行が集中して配置されている。



LCCT の見取り図 (KLIA ホームページより)

国内線出発ロビーはターミナルを入った正面奥に搭乗手続きカウンターがある。その数は 70 ポジションで、これが一直線に並んでいるのだから正に壯観としか言いようがない。別の見方をすればいかに多くの AirAsia を始めとする LCC の便が運航されているかが分かる。



掲示板に並ぶ AirAsia の赤いロゴ … さすがに基地空港だ

手続きの終わった旅客は左奥にある保安検査場を通過して搭乗待合室に進み、12ヶ所ある搭乗ゲートから航空機に向かうことになる。今更ではあるがボーディングブリッジ(搭乗橋)はなく、航空機へのアクセスは徒歩、乗降はタラップを利用するのがLCC流である。多くの便が出入りするLCCTの利用についてはそれなりに注意を払うことがあるようだ。今回の旅行で再会したマレーシア在住の友人から聞いた話を紹介しよう。同じ時間帯に出発機が輻輳することがあり航空機に徒歩で向かう際、他の便の旅客と混在してしまうことがあるそうだ。自分の乗る航空機が何処にあるかが分からないので、うっかりすると別の便に乗りそうになることがあるそうだ。搭乗ゲートから出た列を見失わないような注意が必要とのこと。どうやら彼は間違っって別便に乗りそうになった経験があるらしい。ところでLCCTの中を歩き回っていて気が付いたのだが、一般の人間が立ち入ることのできる場所で、柱に大きな時計があるのは国内線出発ロビー1ヶ所だけだった。この手の設備もLow Costにしているのだろうか。

「無断転載を禁じます」



国内線出発ロビー  
左奥の突きあたりに 70 の  
手続きカウンターが並ぶ

春節を控えて国内線出発ロビー  
入り口にはお祝いのディスプレイも … 中国も兎です



国内線到着ロビーを出た所 … 人と車の多さに驚く

一方の国際線はロビーに入ると搭乗手続きカウンターカウンターがアイランド形式で 2 本が間隔を空けて配置されている。カウンターには 36 のポジションがあり、ここでも基地である AirAsia と AirAsia X がほとんどを使用している。手続きを終えた旅客は左奥にある入り口から入ってエスカレーターで 2 階に上がる。保安検査を受けたら出国検査場に進み、そこから再度エスカレーターで 1 階に降りた所が出発ゲートだ。免税店、本屋、カフェテリアなどがあり、搭乗案内があるまで買い物が楽しめるようになっている。

(続く)



国際線出発ロビー … 壁には AirAsia の Self Check-in プロモーション告知が



国際線到着ロビーの外 … 右側の奥にも出口がある